

お客様各位

この度は、1900 シリーズ（OCR 読み取りライセンス付き）をご購入いただきありがとうございます。

概要

OCR フォントを読み取るには OCR 読み取りを ON にし、OCR テンプレートを設定します。
OCR テンプレートとは、読みたい OCR フォントの構成のことで、例えば

（例:OCR-B フォント） **123ABC**

であれば

【OCR-B】【数字】【数字】【数字】【アルファベット】【アルファベット】【アルファベット】
というのが、（例）の OCR テンプレートという事になります。

これらの設定を行うに**3通り**の設定方法がございます。

1. バーコードメニューを使った簡単設定

→ 下記設定マニュアルにて該当ページをご参照ください。

（マニュアルダウンロード URL）

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_manual.htm

ファイル名：ocr_ug_revb_1011_ja.pdf

**※定義済み OCR テンプレート（パスポート / ISBN / MICR E-13B）の読み取りをご希望の際は
こちらをご覧ください。**

2. 設定ソフト(EzConfig)にて設定用のバーコードを作成し、1900 スキャナで読み取って設定する方法

→ 2～4ページに記載

3. 1900 スキャナを設定ソフト(EzConfig)に接続して、直接設定を書き込む方法（上級者向け）

→ 5～6ページに記載

～準備編～

上記、2、3の手順をご希望の際は下記サイトより、設定ソフト(EzConfig)をダウンロードし、
設定用のパソコンにインストールして下さい。

（設定ソフトダウンロード URL）

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_program.htm

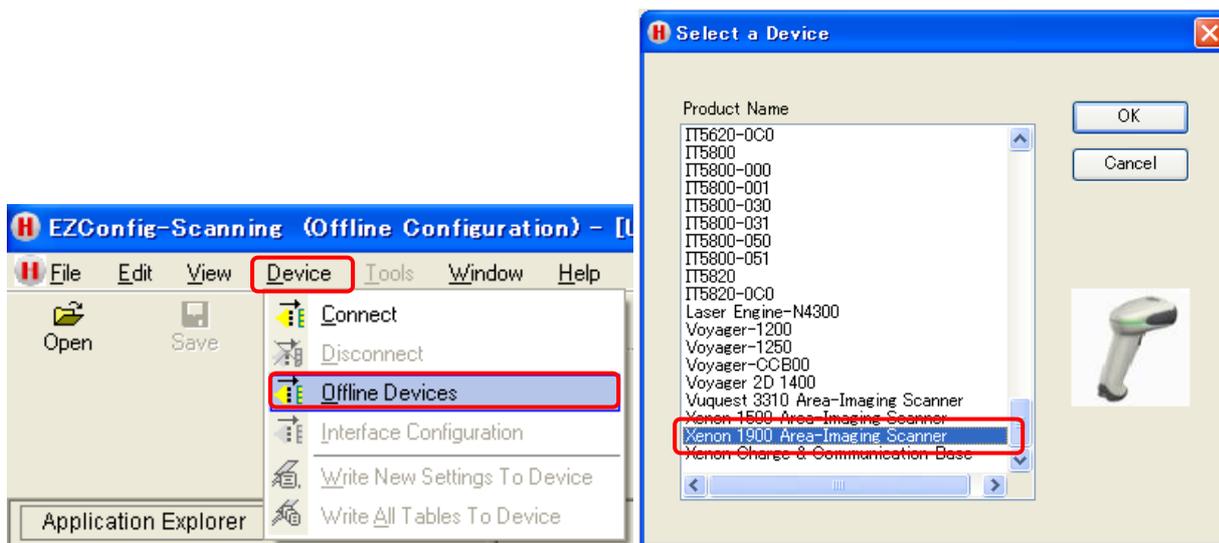
ファイル名：ezconfig.zip

※Ezconfig の詳しいご使用方法は『ezconfig-guide.pdf』の後半に記載されています。

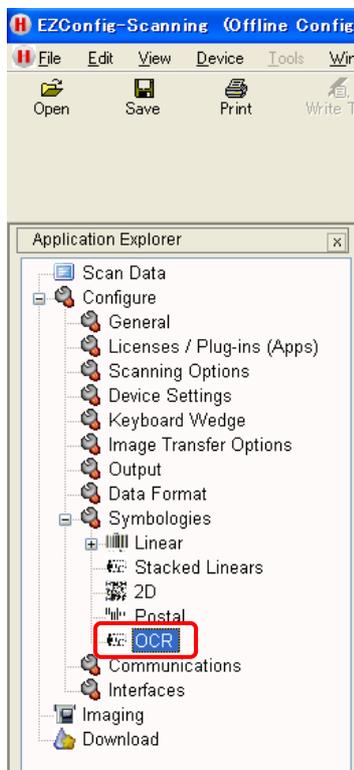
1. 設定ソフト(EzConfig)にて設定用のバーコードを出力し、1900 スキャナで読み取って設定する方法

①EzConfig を起動します。

② 『EzConfig』を起動し、【Device】→【Offline Devices】を選択し、該当機種を選択して【OK】押します。例えば、1900 の場合は、【Xenon1900 Area-Imaging Scanner】を選択します。



③ 『Application Explorer』の【Configure】→【Symbologies】→【Linear】→【OCR】を選択します。



- ④ 自分で決めたテンプレートのみを使用する場合は、そのまま【User Template Only】を選択します。
 ※書籍の ISBN やパスポート等、規格で決められたフォントを読む場合は、既存のテンプレートを選択

- ⑤ 【Type】は OCR フォントの印刷色を選択します。
 白い紙に黒い字で印刷されている場合は【OCR On - NormalVideo】を選択します。
 文字色反転 (黒い紙に白い字) の場合は、【OCR On - ReverseVideo】を選択します。

【Template】に読みたいフォントのテンプレートを入力します。

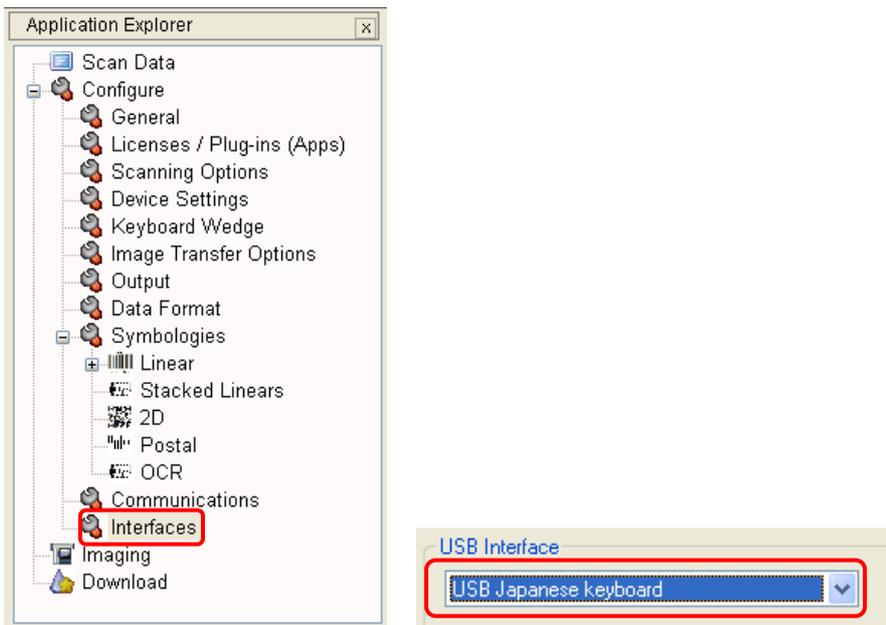
(例:OCR-B フォント) 123ABC を設定する場合
テンプレート: 125556660

- 1 … 開始
- 2 … OCR-B
- 555 … 数字 × 3文字
- 666 … アルファベット大文字 × 3文字
- 0 … 終了

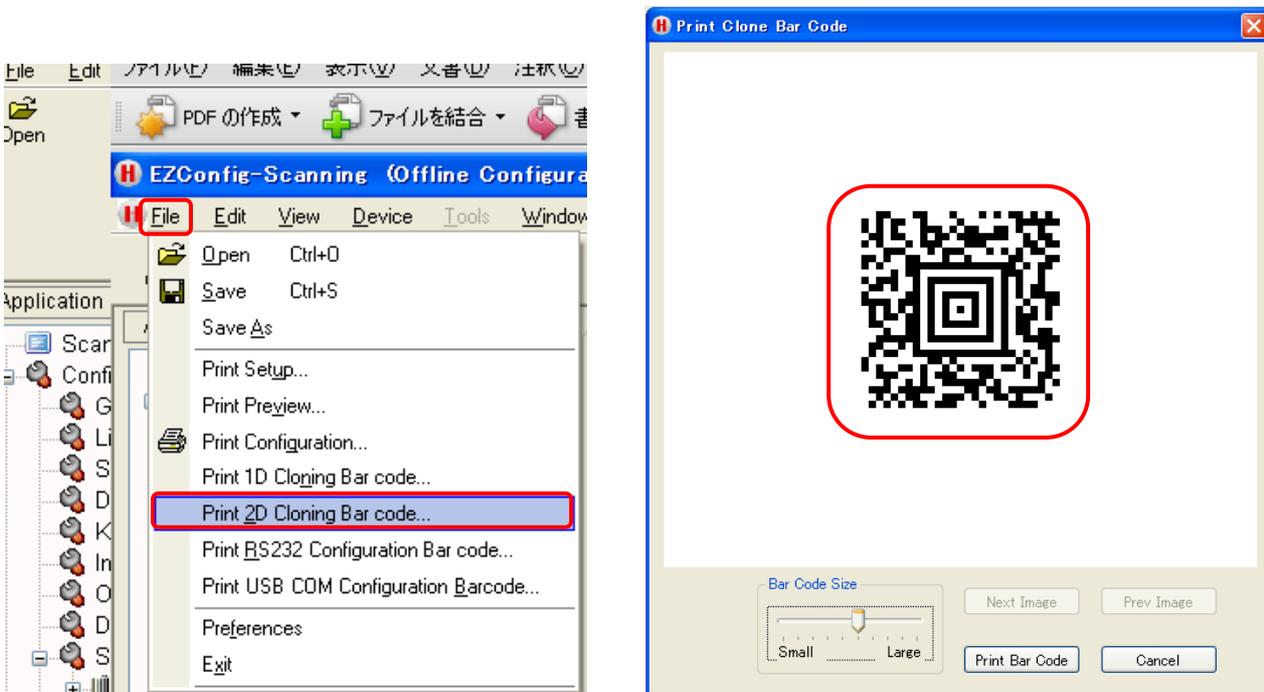
テンプレート値	意味	引数
0	テンプレート終了	-
1	新規テンプレート	1 = OCR-A 4 = MICR 2 = OCR-B 5 = SEMI 3 = OCR-A/B 両方
2	新規行開始	-
3	グループ定義開始	ID 001~255
4	グループ定義終了	-
5	数字ワイルドカード (0~9)	-
6	アルファベット大文字ワイルドカード (A~Z)	-
7	アルファベット大文字+数字ワイルドカード (0~9, A~Z)	-
8	ワイルドカード (スペースを含む全使用可能キャラクタ)	-
A	定義済みグループ	ID 001~255
B	インライングループ開始	-
C	インライングループ終了	-
D	チェックサム	0111, 0112, MOD
E	指定キャラクタ繰り返し	01~50
F	可変キャラクタ繰り返し	01~50 第1引数 始値, 第2引数 終値
X	ASCII 16進数値	-

⑥ USB モデル(1900xx-U)をご使用の場合 (その他のインターフェースモデルの場合は不要)

『Application Explorer』の【Interfaces】で使用するキーボードの種類を選択します。通常は【USB Japanese keyboard】を選択します。



⑦ 【File】→【Print 2D Cloning Barcode...】を選択すると、画面に設定用の2次元バーコードが表示されますので、画面をそのまま1900で読み取るか、印刷してから読み取ることで、作成した設定が適用されます。



2. 1900 スキャナを設定ソフト(EzConfig)に接続して、直接設定を書き込む方法

～準備編～

USB インターフェイスモデルを使用されている場合

- ①1900 スキャナ用バーチャルコムドライバをダウンロードします。
(ダウンロード URL)

http://www.aiware-distribution.com/support/dl_driver.htm

USBバーチャルCOM(USB-COM)ドライバ (Release 1.12 / Version 2.1.6.17)

対応デバイス:

Hyperion 1300 , Voyager 1200g/1202g/1250g,Xenon 1900/1902,
2020ベース, 3800i, 3800g, 4206, 4600g, 4600r, 4800dr, 4800i, 4800p, 5110/5180/N5600エン
ジン, IS4823, IS4920, IS4125 , MS1690, MS1691, MS1633, MS2122, MS2320, MS2321,
MS2322, MS2420, MS2421, MS2422, MS2430, MS2431, MS3580, MS3780, MS4980, MS4984,
MS5145, MS7120, MS7180, MS7580, MS7600, MS7820, MS9520, MS9521, MS9535, MS9540, [4.2MB](#)
MS9541, MS9590, MS9590i, MS9591i , QC890 ,Voyager-COB00 , Vuquest 3310 , Xenon
1500, Honeywell Access Point, Access Point

USBバーチャルCOM(USB-COM)ドライバ

[hsm_usbcom.zip](#)

- ②ダウンロードファイルを解凍し、設定用のパソコンにインストールします。
32 ビット OS の場合 『hsm_usbcom』 → 『Install_x86.bat』 を実行し、ドライバをインストールします。
64 ビット OS の場合 『hsm_usbcom』 → 『Install_x64.bat』 を実行し、ドライバをインストールします。

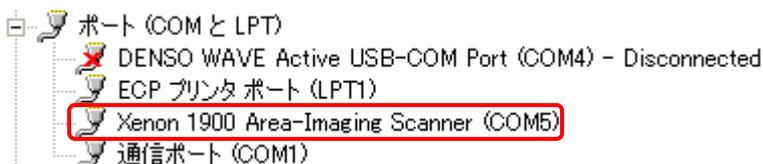
- ③1900 スキャナをバーチャルコム (シリアル通信モード) に設定変更します。



VISMN3 - Temporarily Enable USB Serial

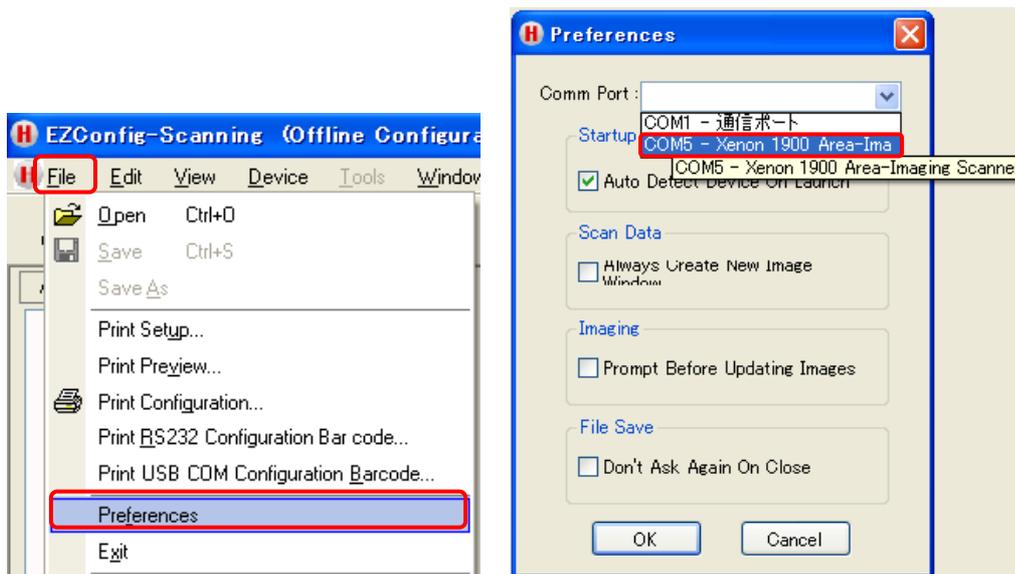
※この設定により、1900 スキャナは一時的にバーチャルコムの設定に変更されますが、全ての設定が終わっ
てから USB ケーブルを抜き差しすることで元の設定 (USB キーボード) に戻ります。

- ④自動的にバーチャルコムドライバがインストールされ、COM ポート番号が割り振られます。
(デバイスマネージャ画面)



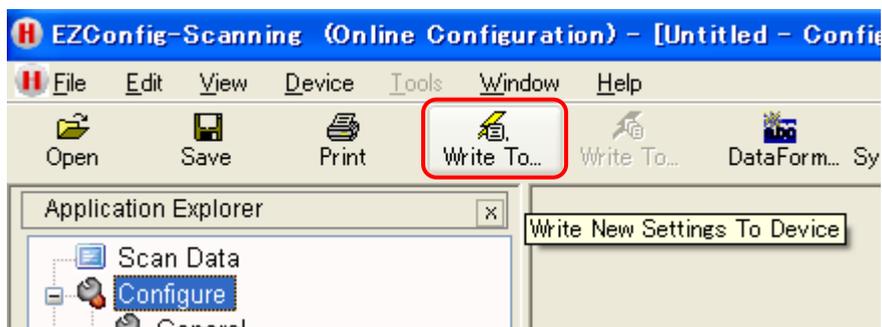
～設定編～

①EzConfig を起動し『File』 → 『Preferences』 → 『接続先の Comm Port 番号』 を選択します。



② ページの手順 1 ③～⑥と同じようにテンプレート作成を行います。

③ 『Write New Setting To Device』 をクリックして、設定内容を 1900 スキャナに書き込みます。



④1900 スキャナの USB ケーブルを抜き差ししてリセットを行います。

以上